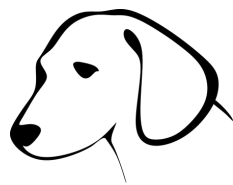




トイレのしつけまとめ

リョウ



■著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。

本冊子の著作権は、発行者にあります。

本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

■使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的：

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項：

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 損害賠償：

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金が発生する場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除：

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

第5条 責任の範囲：

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

トイレのしつけ

トイレのしつけの前提

① 言葉で教えようとしな

犬は私たちの言葉を懸命に聞いてくれています。

しかし、彼らは日本語の意味を理解することができません。我々人間とは脳の仕組みが異なりますし、歴史的にもコミュニケーションの手段に言語というものを用いていません（彼らが互いの意思疎通に使うのは仕草です）。

彼らにとっての日本語とは、意味の分からない音でしかありません。自分に置き換えてみると分かりやすいかもしれません。例えば自分が何かを教わる時に、タ ガログ語、スワヒリ語、火星人が使う火星語などで教えられたらどうでしょうか。もちろん 意味が分かりませんよね。

つまり彼ら犬にとっての日本語も同じなんだと認識することが 極めて重要です。

彼らに何かを教える際に、言葉で教えようとしても伝わらないのです。

② 関連付けによって教える

言語によらないのなら、犬は何によって物事を学習をするのでしょうか。それは「関連付け」です。

関連付けとは、2つの物事をセットにすることによって記憶する学習方法です。

例えば、ゴハンという言葉に反応して喜ぶ犬は多いですが、ご飯という言葉の意味を理解しているわけではありません。

これは飼い主がゴハンという言葉の口にするのと、直後に極めて高い確率でドッグフードが提供されるということを経験則として学んでいるからです。

つまり、ゴハンという謎の音とドッグフードの提供を関連付けているのです。

そして関連付けによる学習には、一定以上の繰り返しを必要とするという特徴があります。

ゴハンという音の後にドッグフードが出てくるという経験を何回も何回も体験しているのです。

犬は論理的思考による学習を行いません。

彼らは自身の体験の中で 2 つの物事を関連付けながら学習します。

そしてそれは繰り返しの中で学習され、強化されていきます。

犬のしつけではこの学習の法則を利用して物事を教えていきます。

③ 叱ってはいけない

叱るのはかわいそうだということもあります。

しかし、そもそも犬は日本語を理解することが出来ないのですから、排泄する「場所を間違えているから」叱ったんだということを伝えることは不可能です。

そのため叱るという行為は、犬が望ましくない学習をしてしまう副作用を引き起こす可能性が極めて高いのです。

望ましくない学習の典型的なものとして

「排泄行為そのものを叱られた」

と犬が誤解してしまうケースです。

これは「間違った排泄場所での排泄」と罰を関連付けさせようとしたにもかかわらず、

「排泄行動そのもの」と罰を関連付けてしまったということです。

排泄行動を叱られた犬は排泄を我慢しようとしめます。
しかし排泄行動は生理現象であって、いくら叱られても止めることはできません。

そして排泄行為を隠すという、非常に困った事態を招いてしまうのです。
テレビの裏で排泄、ベッドの下で排泄、人間が見ていないところで排泄などです。

こうなってしまっただけではトイレのしつけとは違う問題が持ち上がってしまいます。

これらの理由から、排泄行動に対して罰を与えてはいけません。

④ 褒めてしつける

犬に何かを教えるときには、褒めるしか方法がありません。

なぜなら、叱るしつけでは正しい行動を教えられないからです。
叱るしつけとは例えば、「それは違うだろう！」というやりかたです。
これは間違っていることは伝わりますが、肝心な
「では、正しい行動とは何だったのか」
が伝えられていません。

これでは犬に正しい行動をしてもらうことはできません。
つまり叱るしつけというのは「その行動は間違っている」ことを伝える
だけであり、犬が再び同じような状況に直面したとしても、取るべき正しい行動が分からないのです。

それに対して褒めるしつけとは、「その行動、いいよ！」を伝えるものです。

これは犬にしてみれば、正解を教えてもらったようなものです。
行動に対して「正しい」を伝えてもらっているのですから、褒められる

ため取るべき行動が明確です。

褒めるしつけは犬側からすると、
「この行動を取ればいいんだ！」
が明確になるのです。

どういう行動を取ればいいのか明確になるのですから、犬が再び同じ状況に直面した時には、以前褒められた行動を取ろうとする確率は高いと言えます。

⑤ 褒めてあげるために成功へ導く

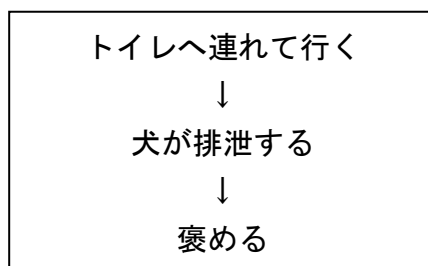
褒めてしつけることが犬のしつけにおいて最も効果的だということは確かです。

しかし褒めるためには、正しい行動を取ってもらうというプロセスが必要です。

ただ待っているだけでは彼らは正しい行動を取ってくれるでしょうか。答えはノーです。

つまり私たちが正しい行動へと導いてあげる必要があります。

トイレのしつけで言えば、成功させてあげるということです。つまり流れで言うと次のようになります。



このプロセスがトイレのしつけにおける唯一の方法です。

犬が排泄しそうなタイミングでトイレに連れて行ってあげる。
そしてその場で排泄してもらえばトイレ成功ですから、すかさず褒めて
「正しい」を伝える。

すると彼らの頭の中で

「この場所で排泄すると褒められる」
という学習がなされます。

「トイレでの排泄」と「褒められる」ということを関連付けさせるので
す。

あとは繰り返しです。

1回や2回では犬は学習しません。関連付けは繰り返しの中でだんだ
んで行われます。

トイレのしつけのポイントを一言で言うならば、成功体験を重ねさせる
ことです。

とにかくトイレに誘導し、成功させる。意地でも成功させる。

そして褒める。これを繰り返します。何十回も繰り返していると排泄
行為とトイレの場所が関連づいていきます。

〇〇ちゃんの場合

●状況

飼い主がいない時はサークル内のトイレで排泄する 飼い主がいる時は排泄を我慢し、我慢しきれないとトイレ以外で排泄する

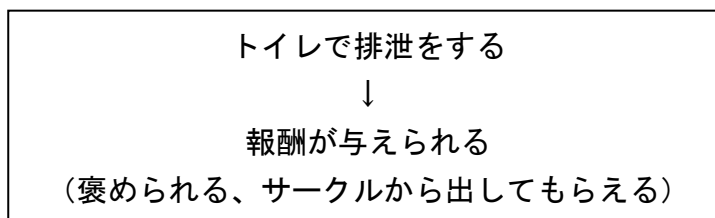
●目標 飼い主がいる時にもサークル内のトイレで排泄する

●方法 飼い主がいる間もずっとサークル内に入れておき、排泄したタイミングで褒めて、サークルから出してあげる方法

とにかく成功させて褒めるしかないなので、成功しかありえない状況を作ります。そのためにはトイレを設置しているサークル内にずっと入れたままにしておくのが一番簡単だと思います。

そして排泄をしたタイミングですかさず褒めてあげて、サークルから出してあげる。

これを行うことにより



という一連の好ましい流れを作ることが出来ると考えます。大切なのは成功させて褒めてあげることです。

【懸念点】

少し心配なのが、飼い主がいる間は排泄を我慢してしまうというところ。そのため、サークルに入れていても飼い主さんがそばにいる間は排泄を我慢してしまい、いつまでもたっても成功体験をさせてあげられないという状況が考えられます。

これに対する対処として、〇〇ちゃんが排泄をしそう・あるいは我慢していると思われるタイミングで、飼い主さんが一時的にいなくなってみるという対処が考えられます。

もし〇〇ちゃんが排泄をしたいのなら一人にしてあげたタイミングでしてくれると考えられます。

ここで重要なのが、実際に飼い主さんがどこかへ行ってしまいうのではなく、実は近くにおいて観察をしている必要があるということです。

トイレのしつけは成功させて褒めるということが大前提なので、〇〇ちゃんが排泄をしたら

「絶妙なタイミングで現れて、トイレの成功を褒めてあげる」

ということが絶対に必要です。

もしも〇〇ちゃんが1人で排泄をするだけだったら、なにも学習しません。

しかし絶妙なタイミングで飼い主が現れ、さらに排泄に対して褒められることによって

「叱られると思ったけど今回は褒められた。あれ、何が違うんだろう？」

ということを考えさせることが出来ます。

これが極めて大切です。

犬は賢いので（そして大好きな飼い主に褒められたいので）、

「いつもは叱られるけど今回は褒められた。今回は何が良かったのか」

ということを考えます。

論理的な思考ではなく関連付けで考えます。

排泄時の表情が良かったのかな。膝の角度が良かったのかな。北東を向いていたのが良かったのかな。7.3秒で終わらせたのが良かったのかな。などトンチンカンなことを考えるかもしれせん。

関連付けによる結論を出すにはサンプル数が少ないのです。

ここで思い出したいのが、犬は一回で学習するのではなく繰り返しによって学習する生き物であるということです。

一回だけだと見当違いの学習をする可能性があります、何回も同じ状況を体験させることによって望ましい学習をする可能性が高くなります。というよりも、その方向へと誘導していきます。

「そうか。ご主人がいる間であってもトイレで排泄すればいいんだな」という結論にたどり着いてもらうのです。

〇〇ちゃんの場合、部屋に飼い主がいなければちゃんとトイレで排泄をするということなので、サークルに閉じ込めずに部屋に自由にしているも部屋に一人にすることによってトイレでの排泄を成功させられる可能性があります。

このあたりは状況を見つつ、やってみるしかないと思います。

●他の方法として

排泄をしそうなタイミングで一人にしてみる方法

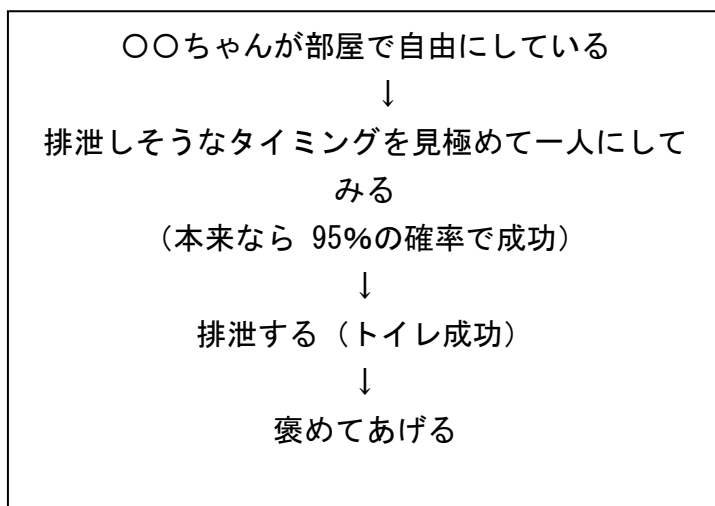
トイレのしつけの重要ポイントとして、失敗させないという点においてはずっとトイレに入れておく上記の方法が最も効果的だとは思いますが。

しかし一日中サークルに入れておくのは…という場合に少しでも緩い方法として排泄をしそうなタイミングで一人にしてみる方法があります。

この方法は常にサークルから出て部屋で自由に過ごさせることが出来ます。本来はこの方法はお勧めしないのですが、〇〇ちゃんの場合は飼い主さんが家にいる間は排泄を我慢する傾向があるという事なので

タイミングさえつかめればこの方法でもしつけることは可能と考えます。

●流れ



●こんなときは？ しばらく一人にしても排泄をしない場合

5分ほど待っても排泄をする気配がない場合には、〇〇ちゃんのいる部屋に戻ってあげてもいいでしょう。飼い主が部屋にいるということは排泄の失敗をする可能性が生まれるわけですから、観察を怠らないようにする必要があります。

●こんなときは？

トイレ以外で排泄を始めてしまった場合 望ましい場所以外で今まさに排泄を始めてしまった場合、急いでトイレに連れて行きます。

(オシッコが出つづけていても！！) 排泄が終わる前にトイレに担ぎ込み、一瞬でもいいからトイレでの排泄を成功させてあげることと、それを褒めてあげることが重要です。これにより「排泄行動」、「トイレの場所」、「褒められた」などを関連付けて学習してくれる可能性があります。重要なのは間違った場所での排泄を叱ることではなく、正しい場所

で排泄をさせてあげる ことです。何が何でも成功体験を積ませてあげて褒めてあげなければトイレのしつけは成功しません。

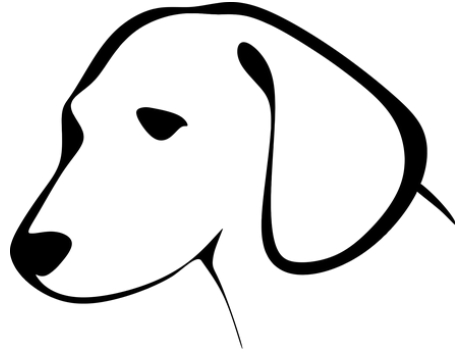
この方法のポイントは〇〇ちゃんの排泄のタイミングを知ることです。〇〇ちゃんの場合は排泄を我慢してしまうので一般論が通用するかどうか疑問なところはありますが、参考程度に排泄のタイミングについて書いてみます。

●犬の排泄のタイミング 犬の排泄タイミングには一定の規則性があります。それを知ることで、格段にトイレの成功へ導いてあげやすくなります。

犬が排泄をしやすいのは次のタイミングです。

- ② 起床の直後
- ② 食事の直後
- ③ 運動の直後

これらのタイミングでは内臓が刺激され、蠕動運動が促されるので排泄行動を起こしやすいです。上手にタイミングを掴み、トイレでの排泄を成功させてあげてください。



トイレのしつけまとめ

<http://ryo-shitsuke.com/>

Copyright (C) リョウ All Rights Reserved.